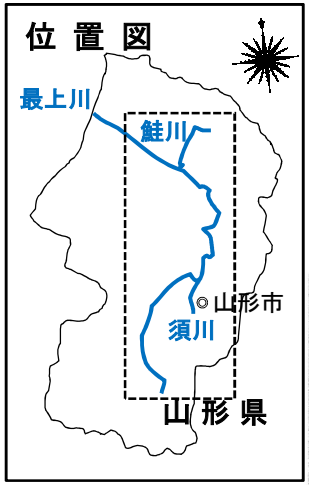
最上川中流・上流 緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や雪対策と連携した治水対策の推進～

○ 令和２年７月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、最上川中流・上流においては、国、県、市町村等が連携し、被災した箇所で、河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良等の取り組みを集中的に実施することにより、令和２年７月豪雨と同規模の洪水に対して、氾濫を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

○ 令和３年出水期に向けて、浸水被害箇所等の堆積土砂の撤去やタイムラインの改善等を緊急的に実施する。



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策

- R2.7豪雨の課題を受けたタイムラインの改善
- 講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
- 流域自治体との洪水対応演習
- メディアと連携による洪水情報の提供
- まるごとまちごとハザードマップの促進
- 危機管理型水位計の設置
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- 水防拠点の拡張・増設　等

■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域での対策

- 土地利用規制・誘導（災害危険区域等）
- 雪対策と連携した住居の高床化への支援　等

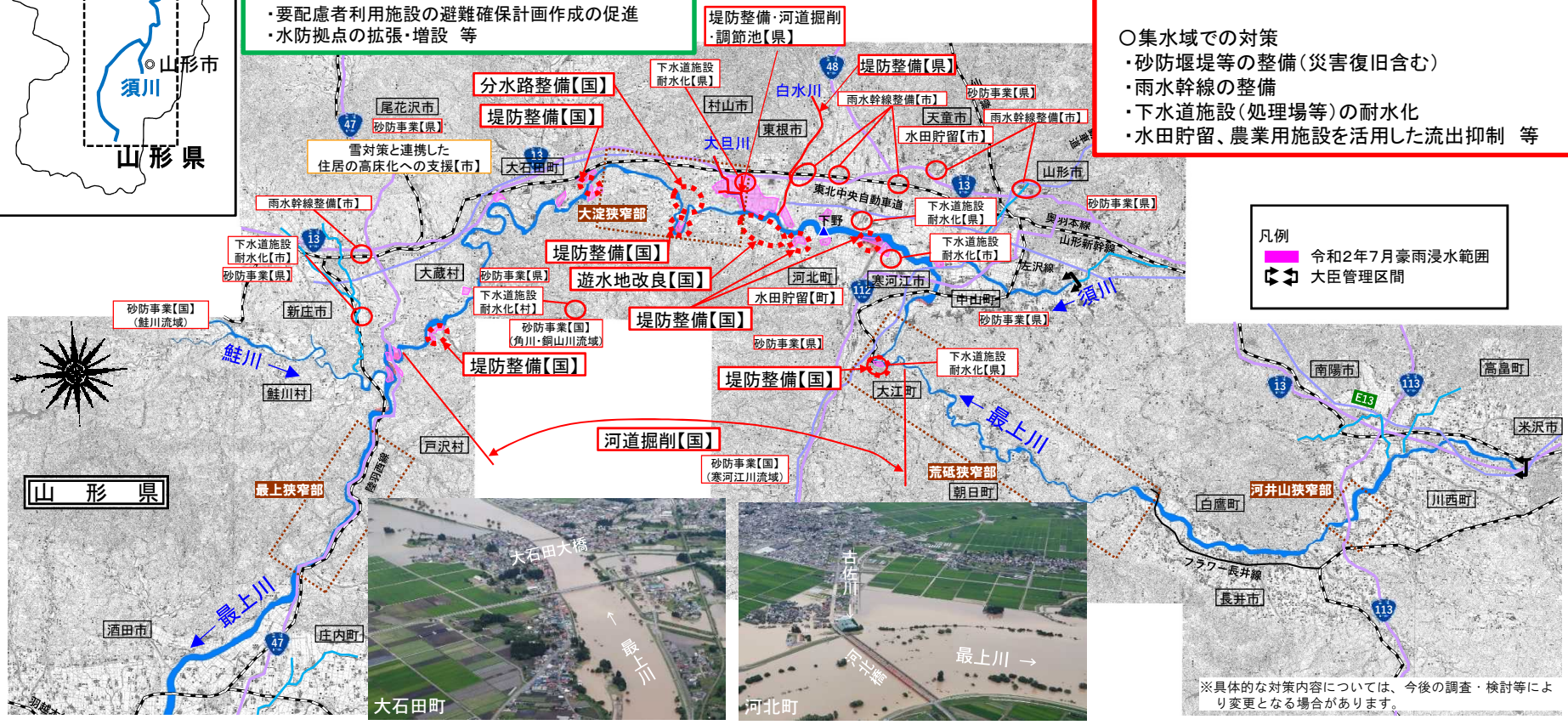
■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策

- 河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良　等

全体事業費	約656億円
事業期間	令和2年度～令和11年度

- 利水ダム等25ダムにおける事前放流等の実施、体制構築　等

○集水域での対策

- 砂防堰堤等の整備（災害復旧含む）
- 雨水幹線の整備
- 下水道施設（処理場等）の耐水化
- 水田貯留、農業用施設を活用した流出抑制　等